

# LOROSAE-TIMOR

東ティモールからの便り⑥ 2024.10

青年海外協力隊 2023 年度 4 次隊 若森恵里:看護師

Botarde! Di'ak ka lae? (こんにちは、元気ですか?)



金木犀の香りが漂い秋の深まりを感じている季節でしょうか? 長い残暑が終わり次第に寒くなっているとききました。東ティモールはまだまだ乾季が続いており日中は日差しも強く 10 月という感じがあまりしないです。先日ショッピングモールの駐車場にてオクトーバーフェストの準備をしている所を見て少し 10 月らしさを感じました。当たり前のように過ごしていましたが、四季があつて旬を楽しむことができることの良さを改めて実感しています。



## 【ディリ国際映画祭】



9 月 26 日から約 2 週間にわたりディリ国際映画祭が開催されました。

東ティモールにはテレビ局もあるようですがエンターテイメントとして番組を作っていることはなく、身近な娯楽としてテレビや映画が国民に浸透しているわけではありません。映画館も唯一のショッピングモールに一つあるだけ

です。平日は \$4、休日は \$6 と安価で映画が楽しめますが、実際いくと 2~3 人(平日)と視聴者はかなり少ないようです。

今回のディリ国際映画祭は 9 カ国の映画が日替わりで上映されました。映画館で上映されたものもあれば、ビーチサイドにスクリーンを設置しての上映会もありました。

もちろん日本映画も上映されました! 天海祐希さん主演の「修羅天魔~髑髏城の七人 Season 極」です。今回の映画祭で上映されるものはすべて無料で見られるので予約枠がすぐに埋まってしまい、残念ながら見ることは出来ませんでした。去年も同様に開催していたので来年もあると期待して、次回参加できたらなと思います。



この日は多くの人々が来場した



## 【Capping Day~戴帽式 in Timor-Leste】



皆さんは「戴帽式」をご存じですか? 戴帽式とは看護学校などで行われる、新人看護師や看護学生が看護師の帽子を初めて正式に着用する儀式です。看護師としての第一歩を象徴し責任や誇りを持って看護に取り組む決意を示すものと言われています。ただ最近ではナースキャップを使用することがなくなったため、この戴帽

式を行わない学校も増えました。かくいう私も戴帽式は経験していません。ですが誓いの儀式としてセレモニーを行うこともあるようです。

前置きが長くなりましたが、先輩隊員の活動先で戴帽式があるとのことで参加させてもらいました。初めての戴帽式が東ティモールになるとは！

この戴帽式には看護科 500 人、助産科 200 人の計約 700 人の学生が参加しました。一つの学校の一学年にこの人数はとても多いです。例年より多らしく実習待ちをしている現状であると話を聞きました。基本的に実習が出来る人数しか入学させない日本と違って来者拒まず、という感じなんですよね。国内の実習先医療施設が少ないことも原因の一つではあると思いますが。

講師の先生たちが一人一人に帽子をかぶせつけていくのですが、あまりの多さに私もお手伝いになり出されました。貴重な体験です！

その後は灯火を行います。この灯火はナイチンゲールが暗い夜も患者のためにろうそくを灯して看護した言い伝えから、看護を受け継ぐ意味を込めて行います。各クラスの代表者がシスターから火をもらい、クラスメイトへと繋いでいきます。700 人が火を灯した会場はさらに暑くなりました(笑) 実習前の戴帽式だったのにもかかわらず、記念撮影や歌唱、ダンスなど盛り上がりを見せ、まるで卒業式のような感じでした。これからが大変なんだぞ〜と思わなくもなかったですが、楽しむことが大好きなティモールらしさを感じました。

戴帽式は“Cerimonia Capping Day e Juramento”と言うそう



カトリックの国なので本物のシスターから灯火を受ける



帽子だけでなく ID カードも着けてあげました



## 【東ティモールの紹介⑤ コーヒー】

10月1日はコーヒーの日、ということで今回は東ティモールのコーヒーについて紹介します。便り④(8月号)でコーヒーについて触れましたが改めてお話ししたいと思います。





東ティモールでは国の基幹産業が確立しておらず、石油・天然ガスに国家経済が大きく依存しています。天然資源以外の輸出ではコーヒーが約 8~9 割を占めており、農業に従事する世帯の 2 割はコーヒー産業に関わっています。加工や販売を含めると国民の 4 分の 1 がコーヒー関連の仕事に携わっていると言われていたほどです。

低地(1000m以下)ではロブスター種、高地(1000m以上)ではアラビカ種が栽培されており 1927 年にロブスター種とアラビカ種が偶然交配したティモールハイブリッドが発見されました。現在は品種改良されたものが世界のコーヒー市場に多く出回っています。もしかしたら皆さんも知らないうちに東ティモールのコーヒーを飲んでいるかもしれませんね。

2002 年の独立前後から NGO などがコーヒー産業の支援を行っており、その中の一つであるパルシックが支援しているコーヒー店に訪れることが多いです。ポルトガル通りと呼ばれる大使館が建ち並ぶ海に面した通りにその店舗があります。ローカルのお店に比べ一杯の値段はやや高いですが、ここではコーヒーを飲むほかお土産にドリッパーパックや豆、ポストカードなどが購入できるので是非訪れてほしいお店です。飲食スペースは 2 階にあり海を見ながら飲むアイスコーヒーは格別です。L サイズを選ぶとかわいいメイソンジャーでいただけます。



尋常じゃない  
ガムシロの量  
現地の方々は  
基本スプーン  
3杯は入れる



お土産のドリッパーコーヒー  
なぜかバラより箱買いの方が高い

## 【東ティモールの紹介⑥ クリストレイ】

東ティモールに来て半年が経過し、ようやくクリストレイに行くことが出来ました！

クリストレイは東ティモール・デシリに来たなら一度は行くべき観光スポットです(東ティモール人に聞いたら十中八九この場所を勧められます。かくいう私も職場で 10 回以上クリストレイに行ったのか？と聞かれました)。この像は過去にはブラジル・リオに次ぐ世界第 2 位の大きさと言われていましたが、各地でどんどん高さが更新されており現在ではおそらくアジア 3 番目くらいの大きさとなりました。そうはいっても 27m もあります！十分でかい！この 27 という数字はインドネシア占領下で 27 番目の州ということが由来となっているそうです。

6 月からこのクリストレイに向かう階段の補修工事が行われていて約 3 ヶ月ほど通行止めとなっていました。補修工事とともにクリストレイの台座も鮮やかに塗り直されました！

12 番のマイクロレットに乗りクリストレイの麓まで向かいます。右手にひっそりと階段があるのでそこを 15 分ほど登ればクリストレイまでたどり着きます。私にとってはなかなかハードな道のりですが丘を登ればデシリの街とビーチが一望できます。途中で分岐があるので海岸方面に下ればビーチにも出ることができます。裏手のビーチは人も少なく綺麗なゆっくりするのうってつけです。

ちなみに、クリストレイは Krist-rei と書きます。rei はポルトガル語で王を意味するのでキリストの王ということですね。



ではまた次号でお目にかかりましょう！  
Adeus!!

